福山民報
発行所
福山民報社
福山市霞町
3丁目4番地25号
℡922-2815
Eメールアドレス
info@f-jcp.com
ホームページアドレス
http://www.fjcp.com/

核兵器も戦争もいらない！

ヒロシマ被爆70年　～平和の祈り～

6日、ヒロシマデー集会の様子

6日、広島市内で、原水爆禁止世界大会・ヒロシマデー集会が開催され、福山市から約40名が参加しました。

集会では、「NO WAR NO NUKES 核も兵器もいらない)」戦争法あかん」と書いた横断幕や垂れ幕で埋まりました。

5500人の参加者が 戦争させない」誰の子どもも殺させない」とコール。新婦人の会の笠井代表が、被爆者の願いを私たちがひきついで頑張ろう」と訴えました。

午後からは、高橋信雄さんの案内で平和記念公園のフィールドワークを行いました。

高橋さんは、原爆ドーム横にある『雁木』や、レストハウス 元大正屋呉服店）でのあの日の惨禍、原爆の子の像のモデルとなった佐々木貞子さんの病状などを詳しく解説しました。

高橋信夫さんの説明を聞く参加者

とくに佐々木貞子さんが、内部被曝が原因の白血病で死亡したことを、日本政府は未だに明確にしておらず、その態度は原発推進と関わりがあることを力説。

核と人類は共存できず、被爆70年経った今も、日本がアメリカの核の傘に固執しているのはおかしい」と話しました。

参加者からは 戦争も原爆も原発の問題も根っこは同じ。こんなにたくさんの人が広島に集い、平和について考えることに勇気がでた」と話していました。

移動のバス内：中村さんによる紙芝居

母の願い届け！　福山市母親大会300人

9日、第61回福山市母親大会が東部市民センターで開催され、市内外から約300名が参加しました。

全体会は原爆詩の朗読や合唱でオープニング、戦争法案廃案まで頑張ろう」とアピール文を採択しました。

報道写真家の郡山総一郎氏が『アジアの紛争地と福島―平和な未来を子どもたちへ―』と題して記念講演。

分科会は 平和」 教育」 医療・介護」 食」 子ども」の五つのテーマで開かれました。

講演する郡山総一郎氏

8月15日・終戦記念日宣伝

15日、辻つねお県議と日本共産党福山市議団は、福山駅前で終戦記念の駅頭宣伝を行いました。暑い日差しの中、戦争法廃案に向け力を合わせましょう」と訴えました。頑張ってください」と手振りや激励が相次ぎました。

安倍首相が14日に発表した 戦後70年安倍談話」に、国内外から厳しい批判の声があがっています。

侵略」 痛切な反省」 植民地支配」 お詫び」など、自らの言葉として語らず、日本の責任を明確に示しませんでした。

戦争法案をめぐる闘いはいよいよ正念場です。

パパ・ママアンケート実施中！

日本共産党福山市委員会は、2015年度中に『市政白書』をつくるため、アンケートを実施します。

第一弾としてパパ・ママへのアンケートを作成するため、6人の子育て世代が集いました。

休日が欲しい」 中学校給食」など、パパ・ママならではの要求を出し合い、アンケート用紙を作成しました。

さっそく地域のパパ・ママへアンケート調査に取り組んでいます。